

生きる喜びを
Let's create Iwate as a place to live happily.
感じられる岩手に！

いわて
県政
レポート
2026
秋号

岩手県議会議員

ハクセル 美穂子

MIHOKO
HUXEL

ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ
◎家族／アメリカ人の夫、4人の息子(大1、高3、高2、中2)
◎職業／英会話教室経営
◎趣味／読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり
◎学歴／雫石町立御明神小学校[S62卒]・雫石町立雫石中学校[H2卒]・
盛岡第四高等学校[H5卒]・岩手大学農学部[H9卒]
◎経歴／平成9年 雫石町役場入庁
平成17年 夫とともにアメリカへ移る
平成18年 (株)Shady Grove Intl設立 代表取締役就任
平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選
令和元年9月 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区2期目の当選
令和5年9月 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区3期目の当選

f ハクセル美穂子
オフィシャルFacebook
<https://www.facebook.com/mihokopage/>



100年先も「いわて」が「いわて」であるように！ 11年間の感謝を、次の100年への力に！

平成27年9月、岩手県議会議員選挙滝沢選挙区で初当選してから、早いもので10年が経ちました。

この10年間、たくさんの皆さまから心温かいご支援をいただき、活動を続けていくことができました。これまでお支えくださった皆さまに、心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

大学卒業後すぐに雫石町役場に就職し、職員として行政に携わった経験はありましたが、政治経験は全くなかった私。小学校3年生の長男を筆頭に4人の小さい子どもを育て忙しい時期に県議会議員を志したのは、今この岩手で生きる私たちの世代が直面する困難の一つでも多く解決し、次の世代に暮らしやすい地域を受け継ぎたいという強い思いがあったからです。

この10年間、人口減少・少子高齢化をはじめ、子育て支援、農業、商工業の振興、医療・福祉など多くの政策を学び、県議会で提言を重ねてきました。議員活動の中で強く実感したのは、県庁の取り組みだけで地域課題を解決することは難しいということです。県民の皆さまに最も近いところで政策を実行する市町村が動かなければ、様々な取組みを前に進めることはできません。

今も多くの若者や女性が、進学や就職で首都圏に移り住んでいきます。また、過疎化によって、地域の医療機関や公共交通など、暮らしを支えるものも弱くなっています。私たちは「人口減少・少子高齢化」を受け止め、対応した地

域社会をつくるために力を尽くさなければなりません。

地域資源を活かし、「若者や女性に選ばれ高齢者に優しい地域をつくる」ためには、新しい技術を産業や暮らしに適切に取り入れる視点が欠かせません。皆さまが大切に受け継いでこられた地域資源を磨き、新しい価値を私たちの暮らしの中に取り入れていくことこそ、地域の将来のために取り組まねばならない最も大切なことです。

若者や女性に選ばれ、子どもも高齢者も安心して暮らし続けられる地域へ。農林業、観光、商工業、郷土の芸術文化を磨き、誰もが挑戦できる地域へ。私はこれからも、お一人おひとりの声をお聞きし、そのお声を行政の力に変え、皆さまが安心して暮らしていくことができる地域をつくるため、全力で取り組んでまいります。

子どもたちの世代も、この地域で家族を持ち、子どもを育て、いつまでも暮らしていこうと思ってもらえるように、一緒に100年先まで続く豊かな地域を創っていきましょう。

ハクセル 美穂子

総集編

ハクセル美穂子

皆さまにお支えいただき、11年！
これまでの活動を振り返ります！

START



市町村要望調査



ママトーク



復興特別委員会視察



お茶っこ会チラシ

地域を歩きました！

広い岩手県内に暮らす県民皆さまの声を伺うために
各地を訪問し、地域の課題に耳を傾けてきました。

いわて県民クラブ・無所属の会は、構成人数5名の小さな会派ですが、5人が手分けをして、県内33市町村を訪れて地域の課題を毎年調査してきました。その甲斐もあり、広い岩手県内のそれぞれの地域事情を直接伺い、岩手ならではの課題を見つめることができました。

選挙区内でも、いろいろな形で皆さまのお声を聞くための座談会を開きました。ご参加くださった皆様に心から感謝を申し上げますとともに、今後も私たち県議会議員に対して様々なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

平成27年9月

初当選！

子育てしている私たちの声を県政へ届けたい！
次の世代もまた岩手で家族を持ち、
子どもを育てたいと思ってもらえる岩手県をつくりたい！

すべては、この思いから始まりました。

当時、8歳(小3)、6歳(小1)、5歳(年長)、2歳だった4人の息子達もすぐ
すぐ育ち、今年でそれぞれ19歳、17歳、16歳、13歳になりました。

彼らが戻ってきて、家族を育みたい！と思ってもらえる岩手を少しでも
早くつくりたかったけれど、まだまだ人口減少・少子高齢化の課題は解決
していません。これからもこの課題の解決のため、これまでの経験を活か
して取り組んでいきます。



会派の仲間と集合写真



一般質問の様子



知事要望



予算委員会の様子



県民と県議会との意見交換会

県議会にて、 たくさんの質問を重ねました！

県民の声を、政策にして県政へ。

県内各地でいただいたお声を政策にして、県議会の質問の中で提言をしてきました。

11年の活動で、一般質問9回、代表質問2回のほかに、決算・予算委員会総括質疑を6回担
当させていただきました。そのほかにもたくさんの質問機会をいただき、質問を重ねてきま
した。その中で、実現できた政策もありますが、いまだに課題として残っているものもあり
ます。私自身の力不足を感じることも中にはありましたが、会派の仲間と一緒に、一つ
ずつ質問を重ねてきたこれまでの経験は、私の中に大きな宝物として残りました。

解決すべき課題はまだまだありますので、今後も真摯に議論を重ねていきます。



全国畜産共進会にて



DESY(ドイツ)視察



サッパ船の船長さんと

現場で学びました！

農業・教育・防災・福祉の現場を調査しました。

人間にとって大切な事は、学び続けること、県議会議員にとつ
てもとても大切な事です。

農業、教育、防災、福祉…、常任委員会と四つの特別委員会で
も、たくさん現地調査しました。

県内のみならず全国各地の現場から多くを学び、岩手の未来
にも生かすため、学んだことを質問に変え、提言し続けた11年で
した。もちろん、これからも…。学び続けます！

人と繋がりました！

多くの県民の方々との出会いが成長に。

議会活動も、地域づくりも、一人ではできません。

県議会での活動は、普段の地域での活動が基
盤です。行政、地域、企業、学校など、多くの方々
とのつながりが私の議員活動の支えでした。



女性議員研究交流大会



町民劇場



駒ヶ岳山開き



消防演習

平成8年現在 感謝を胸に、これからも。

11年間、多くの皆さまに支えていただき、
多くの経験を積み重ねることができました。

本当にありがとうございました。

私ひとりの力は小さいけれども、多くの皆さまのお力が重なり、
11年間の確かな県議会活動につながりました。

これからも、皆さまと共に
「若者・女性に選ばれ、高齢者に優しい」
豊かな地域をつくるために、
力を尽くしてまいります！

